



KU EXPRESS

- 関西大学 プレスリリース -

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 関西大学総合企画室広報課 TEL 06-6368-0007 FAX 06-6337-7078

2005.No.9 / 2005年7月15日

取材のご案内

関西大学 情報教育セミナー ～教科「情報」の今、そしてこれから～

日時：2005年7月23日(土) 午前9時30分～午後4時30分

場所：関西大学千里山キャンパス 尚文館マルチメディアAV大教室

関西大学は、ICTE（情報コミュニケーション教育研究会）と共催で、7月23日(土)午前9時30分から、「関西大学 情報教育セミナー ～教科「情報」の今、そしてこれから～」を関西大学千里山キャンパス・尚文館マルチメディアAV大教室で開催いたします。

このセミナーは、情報社会における小・中・高等学校の生徒たちに教科としての「情報」をどのように教育していくかについて考えるものです。

当日のプログラムは、

本学総合情報学部の菅 知之教授による講演「個人情報保護法と学校の情報セキュリティ」

教育の情報化が進む台湾の現地調査報告「台湾の情報教育に学ぶ」

先進的な教科「情報」の授業を実践している教員による「授業づくり相談室」

シンポジウム「高校生に何を学ばせるべきか？～変わりつつある子どもの情報スキルを見据えて～」

となっています。

小・中・高等学校および教育委員会の情報教育担当者を中心に、情報教育に関心のある一般の方などが参加し、導入から3年目を迎えた教科「情報」を総合的に検討していきます。

「関西大学 情報教育セミナー ～教科「情報」の今、そしてこれから～」開催概要

開催日時：2005年7月23日(土) 午前9時30分から午後4時30分

開催場所：関西大学千里山キャンパス 尚文館マルチメディアAV大教室

主催：関西大学、ICTE（情報コミュニケーション教育研究会）

後援：大阪府教育委員会、吹田市教育委員会、高槻市教育委員会、松下教育研究財団

対象：小・中・高等学校および教育委員会の情報教育担当者、情報教育に関心のある一般の方々

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 川瀬 北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6337-7078

プログラム

9:30～9:40	<p>開会挨拶</p> <p>オリエンテーション</p> <p>司会・進行 黒上 晴夫 (関西大学総合情報学部)</p>
9:40～10:20	<p>講演 テーマ「個人情報保護法と学校の情報セキュリティ」</p> <p>講師 菅 知之 (関西大学総合情報学部)</p>
10:30～12:00	<p>調査報告「台湾の情報教育に学ぶ」</p> <p>コーディネーター 影戸 誠 (日本福祉大学)</p> <p>実地調査報告 今中 俊久 (関西大学第一高等学校)</p> <p>見所解説 水越 敏行 (関西大学特別顧問・大阪大学名誉教授)</p> <p>吉崎 静夫 (日本女子大学) ・ 佐藤 将一郎(UCHIDA)</p> <p>指定討論者 生田 孝至 (新潟大学)</p>
13:00～14:30	<p>授業づくり相談室</p> <p>応談者 池田 明 (大阪市立扇町総合高等学校)</p> <p>山上 通恵 (兵庫県立神戸甲北高等学校)</p> <p>江守 恒明 (富山県立大門高等学校)</p> <p>半田 亨 (早稲田大学本庄高等学院)</p> <p>田邊 則彦 (慶応義塾湘南藤沢中・高等学校)</p>
14:30～15:00	休憩
15:00～16:30	<p>シンポジウム「高校生に何を学ばせるべきか? ～変わりつつある子どもの情報スキルを見据えて～」</p> <p>コーディネーター 黒上 晴夫 (関西大学総合情報学部)</p> <p>シンポジスト 今田 晃一 (文教大学) : 情報活用実践力育成の立場から</p> <p>江澤 義典 (関西大学総合情報学部) : コンピュータ科学の立場から</p> <p>久保田賢一 (関西大学総合情報学部) : グローバル化の視点から</p> <p>越桐 國雄 (大阪教育大学) : 実践動向から</p> <p>指定討論者 鈴木 克明 (岩手県立大学)</p>
16:30	<p>閉会のことば</p> <p>水越 敏行 (関西大学特別顧問・大阪大学名誉教授)</p>

プログラムの概要

講演

- テーマ : 「個人情報保護法と学校の情報セキュリティ」
- 講師 : 菅 知之 (関西大学総合情報学部)
- 内容 : 教育の情報化が進む一方、学校には、情報管理の専門家が配置されていない。本年4月から個人情報保護法が全面実施されたなか、教員はなに気をつけなければならないのか。社会にインパクトを与えている個人情報、学校にどのような意味を持っているのかを考える。
- <講演者プロフィール>
- 1968年に京都大学大学院工学研究科修士課程を修了。同年日本電気に入社。超大型コンピュータDIPSのソフトウェア・アーキテクチャおよび制御プログラムの設計を担当。並行してネットワーク・アーキテクチャ、セキュリティ、ソフトウェアの法的保護策なども担当し、国内外の各種委員会に参加。ISO/IEC JTC1SC27 に日本代表として出席し、セキュリティ評価基準の国際標準化 (IS15408) に参画。96年に電子商取引実証推進協議会 (現在は電子商取引推進協議会) に出向し、本人認証、セキュリティを中心に研究。単なる認証技術だけでなくネットワーク社会における安心感を醸成するための社会的仕組みとしての観点から認証問題を研究し、その普及・定着に取り組む。現在はネットワーク社会の形成が既存の社会との間に引き起こす摩擦やひずみの問題に関心を持つ。2001年4月に総合情報学部に着任。情報処理学会会員

調査報告

- テーマ : 「台湾の情報教育に学ぶ」
- コーディネーター : 影戸 誠 (日本福祉大学)
- 実地調査報告 : 今中 俊久 (関西大学第一高等学校)
- 見所解説 : 水越 敏行 (関西大学特別顧問・大阪大学名誉教授)
吉崎 静夫 (日本女子大学) ・佐藤 将一郎 (UCHIDA)
- 指定討論者 : 生田 孝至 (新潟大学)
- 内容 : 本年3月、20名におよぶ教育関係者で台湾における情報教育の現状を視察。日本と同様、国際学力比較では高い得点をとらせる教育システムをもち、厳しい受験勉強でも共通する台湾では、教育の情報化も進んでいる。政府のガイドラインに反して、立ち遅れがちな日本の状況と比べながら報告し、われわれが学ぶべき点について考える。

授業づくり相談室

- 応談者 : 池田 明 (大阪市立扇町総合高等学校)
山上 通恵 (兵庫県立神戸甲北高等学校)
江守 恒明 (富山県立大門高等学校)
半田 亨 (早稲田大学本庄高等学院)
田邊 則彦 (慶応義塾湘南藤沢中・高等学校)
- 内容 : 教科「情報」が実施されてから3年。教科書も、本年度若干の改訂がおこなわれたが、未だに指導要領に書かれていることを確実に授業において実践できている学校は多くない。教科書や指導要領と授業の実態のギャップに悩んでいる教員も少なくない。今回は、参加される教員から具体的な単元での悩みを出してもらい、その活動展開、評価の方法などについて、先進的な実践を進めてきた教員たちと共に解決策を考える。

シンポジウム「高校生に何を学ばせるべきか? ~変わりつつある子どもの情報スキルを見据えて~」

- コーディネーター : 黒上 晴夫 (関西大学総合情報学部)
- シンポジスト : 今田 晃一 (文教大学) : 情報活用実践力育成の立場から
江澤 義典 (関西大学総合情報学部) : コンピュータ科学の立場から
久保田賢一 (関西大学総合情報学部) : グローバル化の視点から
越桐 國雄 (大阪教育大学) : 実践動向から
- 指定討論者 : 鈴木 克明 (岩手県立大学)
- 内容 : 小・中学校における情報教育はますます充実し、高校進学時の情報スキルは年々あがってきている。また、情報技術の進化・変革も文字通り日進月歩で進んでいる。それに対して指導要領や教科書の対応は遅れがちにならざるを得ない。このようなギャップの中、学校では実際にどのようなことを学ばせる必要があるのか、それぞれの立場から考える。